

いま思うと…技術士を取得できたのでこの場を借りて良い思い出として話せますが、私が口頭試験当日まで東京で過ごした3日間の行動について紹介したいと思います。試験は12月の初旬でしたが、飛行機の天候不良(雪)による欠便を恐れ、試験の2日前に東京入りの行程でした。【1日目】試験会場とホテルが渋谷だったため、会場確認後、ホテルへ直行。しかし時間が早すぎたため、チェックインができず荷物だけを預けることに…途方に暮れて出した答えがファミレス等での勉強ではなく東京スカイツリーを見たい!(田舎者の発想)でした。東京には大学で4年間過ごしていたので、最寄りの駅さえわかれば路線図で行けるようになっていた私は携帯で交通機関を確認し、東京スカイツリーへ向かい最上の展望回廊で空中散歩気分を堪能。開業2年目だったこともあり、平日にも関わらず混んでいた記憶があります。観光した後、ホテルに戻ってからは勉強。【2日目】朝からホテルで勉強を開始しましたが午前中で電池切れ…次に行った行動が大学に行こう!でした。卒業後、研究室に行く機会もなく先生とは年賀状のみで疎遠となっていたのですが、不在でもいいやという気持ちで大学へ。運よく先生は在籍しており快く迎え入れられ情報交換を行ってきました。夕方にはホテルに戻り、最終夜の勉強。【3日目】遊びに行った事を悔やみながら最終確認を行いチェックアウト。その後、試験会場へ向かい口頭試験を受験。受験後、お世話になった方々への報告を行い当日中に飛行機で帰省し、次の日から通常出勤。そして合格。東京での行動は、私にとっては良い意味で気分転換になっていたのかもしれない。不合格だったら悔やんでいたでしょう。いま思うと…不真面目な行動にゾッとします。

鈴木 聡明(すずき としあき)

● 農業部門(農業土木)

勤務先

株式会社ドボク管理
設計部



→次号は、成谷浩之さん(建設部門)

私は“日本で47番目に有名な県”と言われる(笑)島根県松江市に生まれました。自然豊かな環境で育ったこともあり、物心ついた頃から生き物が好きだった私は“ブラキストン線による動物分布の違い”に興味を持ち、はるばる北海道の大学に進んで野生動物管理学を学び、卒業後は金沢・関西で専門学校・環境調査会社勤務を経た後、縁あって北海道に再上陸して現在に至っております。

今の会社では、主に建設事業に伴う環境調査や生物多様性保全に関わる仕事に従事しています。“野生生物の保全”と“人間生活の利便性向上”、2つの相反する事項の両立は容易ではありません。しかしいろいろな業務に関わる中で、昔は不可能に近いと思っていたこのテーマも少しばかりの配慮(簡単ではありませんが)と愛情があれば可能な筈だと考えるようになりました。学生時代の研究対象であったモモンガ、業務で関わったサンショウウオやコウモリなど身近にしながら、小さくて存在に気づかないうちに消えてしまうおそれのある生き物たちの大切さを、技術者として発注者や一般市民の方々に伝えていければと考えています。

技術士試験は、口頭試験で敗退という悲しく情けない経験を経て6回目のチャレンジで3年前やっと合格しました。受験の理由は、業務受注に有効な資格となることがきっかけでしたが、試験対策セミナーを受講して出会った講師の方々の熱心さに感化され、僭越ながら技術士を目指す方のお手伝いができればという思いも資格取得へのモチベーションになりました。合格を機に微力ですが、恩返しのためで受験指導のお手伝いをさせていただいています。そのためには自分自身も“資質向上の責務”を全うすべく自己研鑽に努めていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

井上 剛(いのうえ つよし)

● 環境部門(自然環境保全)

勤務先

野外科学株式会社 技術部



→次号は、佐藤公俊さん(建設部門)